

海外貢献活動

ギザ市上下水道整備プロジェクト

エジプトの首都圏はカイロ市、ギザ州、ギザ市及びカルピア州の一部で構成されています。近年地方出身者の都市集中化により、人口は推定1600万人に増加し、それに対応した基礎インフラの整備が遅れています。また、カイロ首都圏市民の飲み水、排水はすべてナイル川にたよっています。

こうした状況の中で1989年1月からギザ市上下水道整備プロジェクトが開始され、2000年3月、浄水場建設、配水ポンプ建設、水道管幹線、下水道諸施設等すべてが完了しました。10年がかりで完成したギザ市上下水道整備プロジェクトはギザ市南部の1064ha、98万2千人の飲み水を確保しています。



ピラミッドの近くに建てられた配水ポンプ場(手前)



配水ポンプ設備

かんがい農業用 フローティングポンプ場システム

カイロからナイル川を650km南下するとルクソール(神殿で有名な観光地)、さらに250kmのところにあるアスワン(アスワンハイダムで有名)があります。この間の川辺に21カ所のフローティングポンプ

場が設置されています。ナイル川上流域での年間降水量は3~5mm、かんがい用水はすべてナイル川の揚水でまかなわれています。ナイル川の上流の水位は増水期と減水期で最大3.4mの変動

を示すため水位変動に関係なく揚水することができるフローティングポンプが採用されています。ポンプは1日12時間のフル稼働、計5494haの農地に水を供給しています。



フローティングポンプステーション



かんがい用水路